

東地区の高齢化を考える

九月十六日(月・祝)は、敬老の日です。前橋市では、昨年に比べ、高齢化率(65歳以上)が30%を超えています。東地区ではいかがでしょうか？



NO	町名	人口(人)			65歳以上人口(人)			高齢化率(%)
		男性	女性	計	男性	女性	計	
1	箱田町	2,389	3,031	5,420	583	740	1,323	22.54(22.15)
2	後家町	437	441	878	59	66	125	14.24(15.08)
3	前箱田町	713	688	1,401	180	205	385	27.48(27.30)
4	前箱田町二丁目	199	219	418	59	79	138	33.01(33.09)
5	川曲町	1,025	1,048	2,073	256	332	588	28.36(28.88)
6	稲荷新田町	802	836	1,638	152	179	331	20.21(19.61)
7	下新田町	1,790	1,913	3,703	368	445	813	21.96(21.16)
8	上新田町	1,737	1,815	3,552	417	512	929	26.15(25.74)
9	小相木町	1,126	1,103	2,229	222	276	498	22.34(22.14)
10	小相木町一丁目	136	169	305	49	70	119	39.02(38.82)
11	古市町	613	566	1,179	121	150	271	22.99(22.31)
12	古市町一丁目	706	705	1,411	168	221	389	27.57(27.53)
13	古市町二丁目	20	27	47	6	9	15	31.91(41.03)
14	江田町	1,220	1,167	2,387	235	271	506	21.20(20.70)
15	朝日が丘町	124	144	268	29	46	75	27.99(29.46)
16	光が丘町	312	336	648	100	122	222	34.26(35.00)
17	大和根町一丁目	649	738	1,387	212	272	484	34.90(35.63)
18	大和根町二丁目	553	671	1,224	211	303	514	41.99(40.94)
19	新前橋町	340	337	677	77	105	182	26.88(27.71)
20	青葉町	316	330	646	32	27	59	9.13(8.46)
	東地区	15,657 (15,715)	16,284 (16,304)	31,941 (32,019)	3,536 (3,524)	4,430 (4,388)	7,966 (7,912)	24.94% (24.71)

前橋市

人口計

329,453人
(330,215)

65歳以上人口

99,639人
(99,467)

高齢化率

30.24%
(30.12)

令和6年6月30日現在の数値です。()内は前年度の数値です。

お元気なお年寄りを訪ねて

集団の中心的人物 田中キヨ子さん(箱田町)

五月下旬、真夏のような午後、日課のウォーキングで滝川の側道を通行中に「あずま林の広場」で休憩しようとしてと、数人の男女の集団が快く出迎えて下さいました。すぐに話の輪の中に、溶け込むことができそうな開放的な雰囲気、休憩のひとときも心地よく過ごすことが出来ました。後日、伺っても同様でした。

この集団の始まりは、もう一〇年も前から、老若男女を問わず町外の人も、子供連れの人も、犬を散歩する人にも、挨拶を交わし、困りごとなどがあれば相談のつたり色々とお話ができる集団です。その集団の中心的人物が、心優しい田中キヨ子さんです。

田中さんは、一九三六(昭和一一)年生まれで米寿を迎え、ますますお元気です。自宅は箱田町で、長男夫妻とお住まいです。ご自身の健康維持の秘訣を伺うと、起床後、毎朝午前五時頃家を出発、歩いて東公民館へ行きます。途中の「東ふれあい公園」で体操やストレッチを行い、小休止後、歩いて帰宅するのを日課にしています。

食事は、好き嫌いがなく何でもおいしく食べ、昼食前後の余暇は、好きな裁縫の作業もしているそうです。午後三時半頃には、東小学校の南にある「あずま林の広場」で、自然の涼風の中での、皆さんとの語り合いから明日の活力を得ていると言います。

私も、「あずま林の広場」に集う人々から多くの知識が得られ、人々と交流することで心も広く持つことができ、世界が広がって楽しい毎日が過ぎるようになりました。

「あずま林の広場」の近くへお越しの際は、ぜひ立ち寄って自然の涼風の中で、ひとときを過ごされてはいかがでしょうか。ぜひと広場の集いが続くよう望んでいます。なお、田中さんのご要望で、写真は集団の皆さんとの撮影となりました。

(館報編集委員 小池 照二)



卒寿を迎えて

小野功一さん(前箱田町)

卒寿を迎えて、過去のことを振り返りました。当時の養蚕農家は、米麦養蚕と言われ朝五時から夜の一二時頃まで働いていました。私は若い頃、蚕品種改良を担当していましたので四月下旬から十一月月上旬まで土日祭日なく勤務していました。新品種を近くの農家に依頼飼育したことがあります。

一日の作業が終え寄宿に帰ろうとしたら、上司がこれから農家の様子を見に行くと言う、夜中の一二時過ぎでした。一軒の農家で蚕室に明かりが点いていて、嫁さんが桑を補給していたのです。帰りに、このような飼育法では後継者が居なくなり上司に進言したことがあります。時は移り変わり、養蚕業も変わり想像つかないことです。

定年退職後は、個人的に興味を持った群馬県内の絹産業遺産を調査しブログに投稿しました。最初に尋ねた場所は、「日本で最初の器械製糸所跡地」で前橋市岩神町に前橋藩が明治三年九月に創業した製糸所跡です。蚕糸記念館「旧国立蚕糸試験場本館」も敷島公園内に移築されています。

また、前橋の残影の碑から広瀬川を下ると交水堰(交水社の取水堰)があります。萩原朔太郎の詩「広瀬川白く流れ・・・」は、この場所を表現したものと思われ、ここに佇んでいますと明治の人々の姿が偲べれます。

地域では、生涯学習の一環として、色々なサークルができ、盆栽、水墨画、写真、卓球に入会しました。

写真撮影のテーマは、祖母の言葉「花を愛する者に悪人なし」という。花をテーマに、また、座右の銘「老子曰く上善は水のごとし」水は総ての動植物を育むということから、水もテーマに撮影しました。

最近、脳裏に浮かんだ「断捨離」という言葉があります。これからの人生を考え、色々な本や資料を整理し、二十歳時代に興味を持った写真のみにしました。幸いなことに「東カメラ愛好会」に入会し多くの仲間がおります。特に親しくしてくる方が撮影会を計画してくれ、その時の作品日記をたどると、初回が令和四年四月一日、桐生市の屋敷山ミツマタの群生地地での撮影会で三二回になりました。

緑豊かな自然の中で新鮮な空気を頂きながら、カメラの目線で眺めているとボケ防止にもなり、お陰様でカメラ人生を楽しんでいます。

